



☆ 優秀業績表彰：車道ならびに歩道・外構用透水性コンクリート舗装の開発と実用化  
住友大阪セメント株式会社  
鹿島道路株式会社

雨天時の走行安全性、交通騒音の低減、ヒートアイランド現象の抑制等を目的に、長期的な耐久性に優れ、かつ環境負荷低減に寄与する透・排水性舗装の開発が望まれていた。

応募者らは、環境に配慮した機能を有しつつライフサイクルコスト低減にも寄与し、かつ景観性に優れた材料であるポーラスコンクリートに着目し、重交通道路への対応として、強度と透水係数の異なる2種類のコンクリートをwet on wet方式で打ち重ねたハイブリッドタイプの浸透性舗装を開発した。本技術は、水環境の保全・ヒートアイ

ランド現象の抑制などが期待できる環境に配慮したコンクリート舗装として選定された（建設省（当時）中部地方建設局、愛知県公募：先端建設技術センター「環境に配慮した道路構造研究部会」）。

試験施工が2000年8月に愛知県豊田市内の国道155号線で実施され、雨水を直接路床へ浸透させる本舗装は、約4年半を経過した現時点でも舗装体や路床の支持力低下も認められず、また透水機能や路面性状など所要の性能を維持している。

さらに、応募者らは車道での施工で培った上記の材料技術及び施工技術を活かし、歩道・外構用透水性コンクリート舗装分野に用途拡大することを目指し、「歩道・外構用透水性コンクリート舗装：ECOPECK」を開発した。優れた特性が評価され、建物周辺の舗装や歩道、駐車場等に採用していただき、2005年1月現在で、約13,000㎡の施工実績を有している。

